

わかりやすい<sup>ばん</sup>版

# しょう ふくし ほくと障がい福祉プラン

だい じ ほくと ししょう しゃけいかく  
第4次北杜市障がい者計画

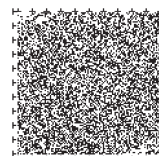
だい ほくと ししょう ふくしけいかく  
第7期北杜市障がい福祉計画

だい き ほくと ししょう じふくしけいかく  
第3期北杜市障がい児福祉計画



れいわ ねん がつ  
令和6年3月

ほくと し  
北杜市



# 1

## ほくと障がいプランとは

### (1) この計画で決めること

この計画は次の3つの計画をひとつにまとめたものです。

#### ① 第4次北杜市障がい者計画

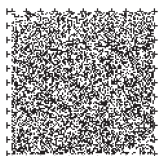
- 障がいのある人が自分らしく、暮らしやすいまちにするために、北杜市がどのようなことを行うか、基本的な取組を決めたものです。
- この計画をつくることは「障害者基本法」という国の法律で決められています。
- 令和6年度～令和11年度の6年間に行うことを書いてあります。

#### ② 第7期北杜市障がい福祉計画

- 障がいのある人が生活するために必要な福祉のサービスを、北杜市がどれくらい提供するかを決めたものです。
- この計画をつくることは「障害者総合支援法」という国の法律で決められています。
- 令和6年度～令和8年度の3年間に提供する福祉サービスについて書いてあります。

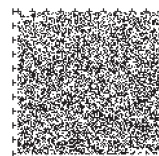
#### ③ 第3期障がい児福祉計画

- 障がいのある子どもたちが生活するために必要な福祉のサービスを、北杜市がどれくらい提供するかを決めたものです。
- この計画をつくることは「児童福祉法」という国の法律で決められています。
- 令和6年度～令和8年度の3年間に提供する福祉サービスについて書いてあります。



## (2) なぜこの計画をつくるのでしょうか

- 日本では、これまで、障がいのある人の基本的な人権や尊厳を守ったり、障がいのある人がどのように暮らすか自分で決めたりできるように、「障害者基本法」や「障害者総合支援法」「障害者差別解消法」などの法律やルールをつくってきました。
- 最近では、どんな人でも本を読む環境を整えたり、ほしい情報を得られるようにすることを決めた法律が新しくつくられました。
- このように、時代の変化にあわせて、障がいのある人が暮らしやすい社会にするために、みんなで気を付けたり、守ったりすることを決めてきました。
- わたしたちの住む北杜市にも障がいのある人が暮らしています。障がいがあっても、なくても、みんなが幸せに、自分らしく暮らせるように、北杜市をどんなまちにすればいいか、そのために何をすればいいかを決めたのがこの計画です。



# 2

## 北杜市の障がい者の様子

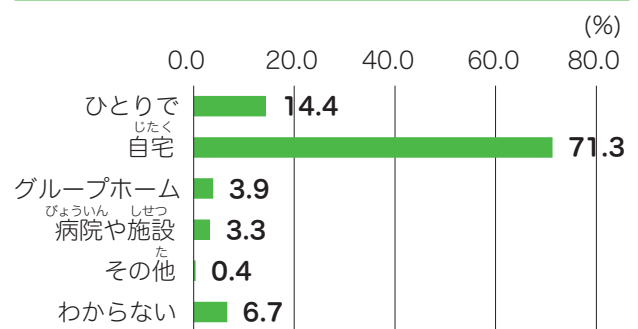
### (1) 障がいのある人の数

- 北杜市には障がいのある人が2,450人くらい暮らしています。
- 一番多いのはからだが不自由な人で、65歳以上の高齢の人が多いのが特徴です。

### (2) 障がいのある人が困っていること

- 北杜市に住む障がいのある人に話をきいてみると、多くの人が自分の家で暮らしたいと考えています。

どこで暮らしたいですか？

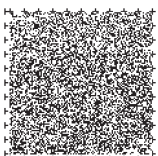


(障がいのある方へのアンケートより)

- 自分の家で暮らしながら、買物や病院に行ったり、学校や仕事にでかけたりするのに、手助けが必要な人もいます。

- 障がいのある人の暮らしをふだん手助けしているのは、多くの場合、その人の家族です。でも、一緒に暮らしている家族が高齢になり、うまく手助けできなくなってしまうこともあります。

- 障がいのある人ができるだけ困らず、安心して暮らせるように、北杜市では、一人ひとりにあった福祉サービスを利用できるようにしています。



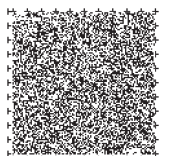
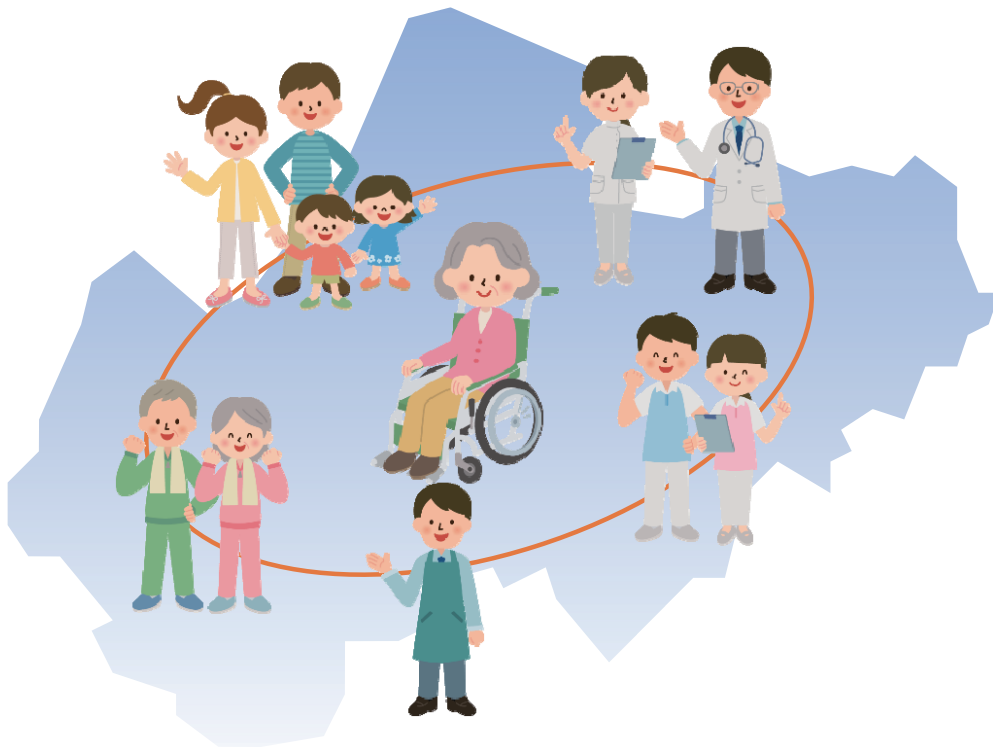
# 3

## この計画でめざすこと

- 北杜市では、障がいのある人が、自分らしく、いきいきと暮らせるまちにしたいと考えています。
- その思いをこめて、「自立と支えあい・やさしさあふれる杜づくり」をめざしています。

## この計画でめざすこと

# 自立と支えあい・やさしさあふれる杜づくり



# 4 この計画で取り組むこと

つぎのおおもくひょうをたてて、けいかくすす次の3つの大きな目標を進めます。

## 大きな目標① 必要な手助けを受けられる

しょうがいのあるひと、ひとりが必要としているてだす手助けやサービスを提供できるようにします。

### ★やっっていくこと★

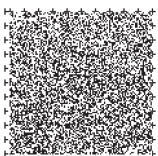
1. しょうがいのあるひとが、しせつではなく、ちいきで暮らせるようにします
2. しょうがいのあるひとのお世話をしているかぞくやすじかんが休める時間をつくります
3. そうだんできるばしょふを、はやもんだいかいけつ増やし、早めに問題を解決できるようにします
4. しないりょうで利用できるふくしサービスをじゅうじつ充実させます
5. ふくしサービスのしごとをするひとが仕事を続けやすいようてだす手助けします
6. しょうがいのあるひとが必要となるときにびょういんに行きやすくします

## 大きな目標② 一緒に学べる

こどもたちひとりひとりのそだかたたいせつを大切に、しょうがいがあってもなくても、みんながいっしょまな一起学习できるようにします。

### ★やっっていくこと★

1. しょうがいのあるひとが小さいときから18さいになるまで、ずっとせいちょうを見守り、てだす手助けします
2. しょうがいのあるひとがはたらきやすいばしょきかいを増やします
3. しょうがいのあるひとがスポーツや好きなことをできるようにてだす手助けします
4. しょうがいのあるひとが知りたいじょうほうをえやすくしたり、ひとと話しやすくしたりするためのかんきょうをつくります
5. みんながたすあしやかいになるよう、しょうがいについてもっとしってもらうためのじょうほうていきょうを提供します



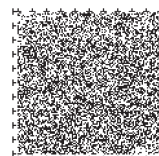


おお もくひょう  
大きな目標③ **安心・安全に暮らせる**

しょう ひと さべつ おも  
障がいのある人が、差別をうけたり、つらい思いをしたりしないようにし  
ます。そして、しょう あんぜん あんしん く  
障がいがあっても安全で安心して暮らせるまちをつくります。

★やっいていくこと★

1. しょう ひと たいせつ けんり まも てだす  
障がいのある人の大切なものや権利が守られるよう手助けし、  
ぎやくたい こころ きず  
虐待（からだや心を傷つけられること）されないようにします
2. どうろ たてもの だんさ い い  
道路や建物の段差をなくしたり、行きたいところに行きやすくします
3. さいがい しょう ひと ひなん じゅんび  
災害がおこったときに、障がいのある人が避難しやすいよう準備  
します



# 5

## すうじ もくひょう 数字の目標

れいわ ねんど  
令和8年度までに、つぎ すうじ もくひょう たっせい  
次のような数字の目標を達成できるように、とりぐみ すす  
取組を進めていきます。

おも もくひょう 主な目標	れいわ ねんど 令和8年度までに めざす数字
① 施設から、自分の家やグループホームに引っ越す人を増やします	4人
② 地域での暮らしを手助けする専門のコーディネーターを配置します	1人
③ 福祉施設を出て、仕事をはじめる人の数を増やします	8人
④ 障がいのある子どもたちのためのセンターをつくります	1か所
⑤ より良いサービスを提供するために研修を受ける市役所の人を増やします	10人
⑥ 成年後見制度（お金の管理などを手伝ってもらうしくみ）を利用する人を増やします	4人
⑦ 手話ができるようになる人を増やします	20人
⑧ 手話を使った通訳などを利用する人の数	235人
⑨ 外出する手助けを受ける人の数	70人
⑩ 障がいのある人を一時的に預かり、家族が休めるようにするサービスを利用する人を増やします	85人

